

【 道徳 】

1 学習の目標

- (1) 豊かな心をはぐくむ。
- (2) 人間尊重（生命の尊重・人権の尊重）の心を育てる。
- (3) 伝統的な文化を継承し発展させ、さらに個性豊かな文化の創造に努める心を育てる。
- (4) 未来を開く主体的な人間（前向きな姿勢で未来に希望を持ち、自主的に考えようとする人）を育てる。

2 道徳の時間に学ぶこと

- (1) 自分自身に関すること
- (2) 他人とのかかわりに関すること
- (3) 自然や崇高なもの（気高く偉大なこと）とのかかわりに関すること
- (4) 集団や社会とのかかわりに関すること

3 道徳の授業では

- (1) 授業の前に ・道徳の教科書とノートを準備しておきましょう。
教科書だけでなく、新聞や本、DVD など様々なものが題材になる場合もあります。いろいろなもの見方・考え方にふれ、視野を広げていきましょう。
- (2) 授業では ・「自分はどう思うか」「自分だったらこうするだろう」というように、まず自分に問いかけるようにしましょう。
- (3) 授業の後に ・生活のどんな場面で学んだことが生かされるのか考えてみましょう。

4 他教科・総合的な学習の時間と道徳の時間

道徳の授業の中で教科書などを使っていろんな価値について考えたり学んだりしますが、本来道徳は学校の全ての活動の中で学習し身につけるものです。「他教科の授業」や「総合的な学習の時間」では、自分たちで課題を見つけ、学び、調査・研究し、発表することを通して実践力（実際に行動する力）を身につけることを目指しています。この時間は実践的な事柄が中心になりますが、道徳の時間に身につけた「道徳性」と結びつくことで、実践したことが「豊かな体験」になっていきます。道徳の時間に学び、考えたことを毎日の生活の中でも役立てていきましょう。